

Y I A 会員だより 2022年9月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第213号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【9月以降の活動予定他】

- 9月29日(木) 学島小学校にて国際理解座
講師：インドネシアのアリさん

- 10月2日(日)午後 浴衣・着物着付け体験会
場所：文化研修センター
- 11月下旬 国際交流バスツアー (予定)

◆コロナ禍でのアメリカ行き 井口 和代

私は見たことのない景色を見るのが好きです。見たことのない食べ物を食べるのが好きです。よその国の人たちと触れ合うのが好きです。ですがここ2年ほどそれが出来ていません。コロナで。

そんな中、高校時代の友人が2年ぶりに帰国することになりました。彼女は国際結婚をしていてアメリカに住んでいます。

私は考えました。友人がアメリカに帰る時に、私も一緒にアメリカに行きたい、と。それを伝えると「いいよ」ところよく返事をしてくれて。それで今回のアメリカ行きが決まったのです。

が、本当に決心するまでには3日かかりました。かなり悩みました。なぜかと言うとコロナが怖いというのではなく、日本に帰国する際の手続き、書類、がとにかくややこしかったからです。

その時の日本帰国時に必要な書類は、

- * 新型コロナウイルス陰性証明書
- * 誓約書 * オンライン質問票
- * MySos アプリのダウンロード です。

しかし初めてのことなのでさっぱりわかりません。経験者が挙げているYouTubeを見て学習しました。それでなんとか理解できアメリカ行きを決めたのです。

反対にアメリカへの入国はとても簡単でした。日本でのワクチン接種証明書とアメリカ政府が定めた誓約書の記入だけ。

出発は8月の2日でした。2週間の滞在です。久しぶりの飛行機にはわくわくしました。滞在中は友達の旦那さんがアウトドアに連れて行ってくれました。カヌーやハイキング、ゴムボートに乗ってジェットボートに引っ張ってもらうアクティビティ等々です。どれもスリリングでアメリカの美しい自然を満喫。ですが、日本では完全なるインドア派の私。ライフジャケット

を着て川や湖で「ぎゃー〜」。声が枯れるほどに「ぎゃー!!」でした。



そんな事をしていても頭によぎるのは、帰国時に提出しなければならない出発72時間以内のPCR陰性証明書。これが陽性だと帰れなくなる。滞在中の2週間、ふとした拍子にこの事が頭の中に現れては消え、消えては現れて。ほんと落ち着きませんでした。

と、色々緊張と不安のあったアメリカ行きでしたが、行ってよかったです。アメリカの景色はやはり最高でした。

また、友人ファミリーにはPCR検査時の予約でお世話になったり、生活を共にしてくれたり、本当に感謝しかありません。

マスクのある国からマスクのない国へ。そしてまた、マスクのある国へ戻ってきて思う事。それは、「国が違うと考え方も習慣も違う」という事。ほんとに面白いです。世界は。またどこかへ行きたい。

◇ご近所で異文化交流

三原 敦子

8月末日、川島でインドネシア料理店『di cafe』を営むご夫婦にお話を伺ってきました。ご主人の名前はデディさん、バリ島の右隣にあるロンボク島の出身。奥様は井本幾子さん、そしてお二人の娘さんとお腹の中には三人目のお子さんが。



知り合ったのは京都ですが、幾子さんが徳島県出身ということで初めは小松島に、そして一年前から川島町でお店を開

いているとのことでした。

山川や川島のインドネシア出身の人たちとも親交があり、行き来をしているそうです。奥様のお話では、川島町には沢山のインドネシア人が住んでいるからか、自然に異文化理解が育まれているように思う。けれどハラル食品が「イスラム教の人たちだけが食べられる食品」と思われがちだけれど、本当は「神様が与えてく

れた食べ物」だから誰でもが食べるものだという事を知って欲しいという事でした。

デディさんは YIA の会員だよりを読んで、「こんな取り組み（日本語教室や文化交流イベント等）にもっと多くのインドネシア人も参加してほ



しい。日本語や日本の文化を知ることが母国に帰っても必ず役に立つことだからね」と、私たちの活動に興味も持ってくれました。ちなみに「インドネシアのミナン族は母系社会なんですね、ロンボク島は？」と聞くと「インドネシア全体に女性が強いですよ」と奥様の顔を見ながら話されていました。

テイクアウトで持って帰ってきたカレーは夫も気に入って完食。コロナが収まったら、もっと多くのメニューをお店で食べて、デディさんや幾子さんとあれこれ話してみたいと思いました。身近なところでの異文化交流でした。

◆新 ALT 歓迎会報告

安部 正美

日時：8月27日（土）18:30～20:30

場所：セントラルホテル鴨島.レストラン カナ

出席者：16名（ALT 3名含む）

始めに萩森会長の挨拶、続いて新 ALT の Samantha Ross 先生、Robin Kelly 先生の挨拶、出席した YIA メンバーが自己紹介。田村理事の乾杯の挨拶で食事会が始まりました。

新型コロナウイルス感染対策として、ホテルの方で席は1つおきにし、向かいにアクリル板を設置して下さいました。

アトラクションとして、スマイル家族応援団による沖縄の伝統芸能エイサーで、1曲目「ミルクムナリ」2曲目「海の声」3曲目「五穀豊穰」を披露して頂きました。迫力のある太鼓と踊りはとても素晴らしかったです。エイサー終了後、メンバーの方達と一緒に記念撮影をしました。

次に萩森会長よりパワーポイントで YIA の活動概要の紹介を行い、最後は三原理事の一本締めで盛会裏にお開きとなりました。

